

F D Kグループでは、国際規格 I S O 14001に基づく環境マネジメントシステムを構築し、持続的・継続的な環境改善活動を行っています。I S O 14001を環境負荷低減のための1つのツールとして有効に活用。工場や事業所がある地域ごとに活動組織をつくり、地球と調和した環境活動を行っています。

また、環境マネジメントサイクルである「Plan Do Check Action」を効率よく運用しています。

環境基本方針

企業の事業活動に伴う環境への取り組みは、国や地方の規制に対応するだけでなく、地球レベルの視点で主体的に考え、地球温暖化対策、廃棄物の削減、化学物質の管理の徹底などに対して行動しなければならないと考えています。それは、持続可能な社会の構築という大きな命題への共通認識でもありと考えています。当社は、自社の活動に加え、富士通株式会社とグループでの活動推進に取り組みます。そのために環境活動の根本である環境方針を統一しました。これは、自主的な環境負荷低減とグループでの活動による相乗効果により、さらにしっかりした環境活動の推進を狙ったものです。当社の製品の大半は電子機器・装置に組み込まれる電子部品と家庭において使われる日用品である乾電池であります。従いまして環境負荷低減の取り組みとして、当社の製品が搭載された機器の回収を推進する一方、使用後の製品のリサイクルにも取り組んでいます。さらに原料調達から、生産、流通、消費、廃棄まで含めた製品のライフサイクルを通じて、環境負荷の少ない製品の開発を最重要の課題と捉え、これに注力しています。

本報告書は2003年度(2003年4月～2004年3月)の当社の環境への取り組み、活動状況について記述しました。ここ2年の主な取り組みとして、生産工程における省資源・省エネルギーのさらなる推進、廃棄物の削減とFRIT対象物質の排出量の削減、梱包材料の削減、さらに私どものステークホルダーの皆様とのパートナーシップが欠かせないという観点から、ホームページのリニューアル等による「環境情報のディスクローズ」に注力してきました。

今後もこれらの活動を地道に続けていくとともに、グリーン調達、グリーン製品の開発等のテーマにも積極的に取り組んでまいります。それらを通じて、当社グループの環境スローガンである「F D Kグループは自然を愛します かぎりある地球のために」を実践してまいります。

理念

F D Kグループは、環境保全への取り組みが重要な経営課題であると認識し、I T企業としてその持てるテクノロジーと創造力を活かし、社会の持続可能な発展に貢献します。また、事業活動にかかわる環境法や環境上の規範を遵守するとともに、自主的な環境保全に努めます。さらに、豊かな自然を次の世代に残すことができるよう、すべての組織と一人ひとりの行動により先行した取り組みを継続して追求していきます。

行動指針

- 1 製品のライフサイクルを通じ、すべての段階において環境負荷を低減する。
- 2 省エネルギー、省資源および3R(リデュース、リユース、リサイクル)を強化したトップランナー製品を創出する。
- 3 有害な化学物質や廃棄物などによる自然環境の汚染と健康被害につながる環境リスクを予防する。
- 4 I T製品とソリューションを通じ、お客様や社会の環境負荷低減と環境効率の向上に貢献する。
- 5 環境に関する事業活動、製品およびサービスについての情報を開示し、それに対するフィードバックにより自らを認識し、これを環境活動の改善に活かす。
- 6 従業員一人ひとりは、それぞれの業務と市民としての立場を通じ環境の改善に努める。



組織と体制

当社の製品の多くは、電子機器や装置の中に使われます。これらは生産から消費・廃棄にいたる全ての段階で、消費者の方々の目に触れることはありませんが、環境負荷の低減、安全性の確保を達成するためにさまざまな環境負荷低減の活動をしています。

推進組織としては、年度の方針・計画などを決定する環境会議を会社の機関として設置しています。部門横断の体制として、具体的な展開を図る環境管理委員会を全社に配し、実際の活動をコントロールする仕組みとなっています。(P2参照)(教育)

当社では、I S Oのマネジメントシステムや環境保全に関する教育を社員や協力会社の従業員を対象に継続的に実施しており、環境配慮に関する意識は着実に向上しています。

教育と普及については、当社の環境技術センターが推進しており、新入社員および中堅社員を対象とした環境に関する一般教育から専門知識を必要とする環境管理に従事する者への専門教育まで、従業員の各層ごとに取り組んでおります。